
言葉の力は絶大だ!! しかし、それが両刃の剣と化してしまう事もある。（推察）

聖魔光闇

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

言葉の力は絶大だ！！ しかし、それが両刃の剣と化してしまう事もある。（推察）

【Nコード】

N5455P

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

【病は気から】この言葉、安易に使つと良くない気がします。

(前書き)

この苦しみから逃れる為には一体何をすれば良いのか!!
それは、きっと自分自身が一番良く知っている。

面白い文章の題材を見付けた。簡単な言葉だが、これはなかなか奥が深い。 【病は気から】 この言葉、安易に使用してはいけないような気がする……。

鬱持ちの方なら分かるかもしれないが、気持ち『俺は（僕は・私は）こんなに頑張っているのに……！！』とか『何故分かってくれないんだ！！』というような気持ち等から病を発病する。 【病は気から】 確かに、その通りかもしれない。しかし、気持ちで発病した病を気持ちで治そうとしてもかなりムリがある。心の中では、その病に苦しんでいるのは、他ならぬ自分自身なのだから。

【死ぬ気になったら何でも出来る】 という言葉同様に、死ぬ気になってしまったまたは、無気力で動きたいけれども動けない人間に 【病は気から】 という言葉を投げ掛けたらどうなるであろうか？

私はきつと、その者は『自分の頭は狂っているんだ！！』と自身を責め立てた挙げ句、結局自殺や無気力というような状態に陥るのではないかと推察する。

鬱病だけでない。過食症や拒食症等といった病も気持ち（心）が発病の起因となる病だと思われる。このような方々に「病は気からだから、気持ちを強く持つて」「人間死ぬ気になったら何でも出来るだろう」等とアドバイスしようモノならそれは火に油を注ぐようなもので、病を回復させるどころか、悪化させてしまう反面を併せ持つように思えるのである。

これらの病は自己修復能力と周りの共感により回復の兆しをみせる病であると思われる。他人からとやかく言われて治癒する病でも無ければ、病院で処方された薬を一・二週間飲み続ければ治るといふ病でも無い。もっと長い期間の中で投薬もし、周りからの温かい

視線が薬の代替ともなり、自分自身の中で、その回復を徐々に、本
当に少しずつ徐々に、徐々に、回復させていく病であると私は考え
る。

学説的にどのように解釈されているのかを全く調べもせず、ただ
書き散らしている私の思うところの病の解釈を文章中に挙げさせて
頂いた。

ここまでで、何が分かったかと言われても何も分からないかもし
れないが、先程の二つの言葉 【死ぬ気になったら何でも出来る】

【病は気から】 この二つの言葉は両刃の剣で、もしかする
と、その者を奮い立たせ病を回復傾向に持ち込む事も可能かもしれ
ないが、逆に『頭のおかしくなってしまった自分なんて……』と自
己嫌悪・自暴自棄に陥り、病を悪化させてしまいかもしれない反面
を併せ持つ事だけ認識して頂きたいと私は感じるのである。

(後書き)

病回復の兆しの核となるのは自分自身の心だと思えます。

しかし、他人から言われる言葉により、その回復速度は変速し、時には逆走する事もあると考えられます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5455p/>

言葉の力は絶大だ!! しかし、それが両刃の剣と化してしまう事もある。（推）

2010年12月17日06時49分発行